

(臨床研究に関するお知らせ)

角谷リハビリテーション病院に入院歴のある患者さんへ

角谷リハビリテーション病院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向きコホート研究」という臨床研究で、当院倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させていただく研究です。対象となる患者さんの新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないように情報の保護には十分注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせにご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

循環器疾患を有する運動器疾患高齢患者のリハビリテーション治療成績

#### 2. 研究責任者

角谷リハビリテーション病院 診療技術部 統括科長 小林 啓晋

#### 3. 研究の目的

当院に入院する循環器疾患を有する運動器疾患高齢患者と循環器疾患を有さない患者との血はビリテーション治療成績を比較し、リハビリテーション治療の問題点を明らかにすること。また、得られた知見をもとに対策を行うこと。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

2019年10月以降に角谷リハビリテーション病院に入院し、リハビリテーション治療を受けられた、運動器疾患の方。

##### (2) 利用させていただく情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、診断名、既往症、在院日数、実績指数、在宅復帰率、6分間歩行テスト、6分間歩行テスト改善量、Functional independence measure(以下FIM)、FIM 利得・FIM 効率、膝伸展筋力、10m歩行テスト(以下10MWT)、Timed up & go test(以下TUG)に関する情報です。

##### (3) 方法

循環器疾患の有無で2群にわけ、入院時と退院時の身体機能の平均の差を比較、他の情報も含めて分析を行います。

#### 5. 個人情報の取り扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることはありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等を利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

和歌山市納定 10-1

社会医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院 診療技術部 担当 小林 啓晋

TEL:073-475-1230 FAX:073-475-1231

E-mail:sumireha@sumiya.or.jp